

◆特定共同研究(A)(研究期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画等のプロジェクトへの、全国の研究者の参加支援)

No.	課題番号	付表の 番号	研究 代表者名	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2020-A-01 (KGSM01)	-	八木原 寛	-	鹿児島大学・ 南西島弧地震 火山観測所	企画部	南西諸島北部域におけるプレート 間すべりの特性に関する地震・地 殻変動観測研究	報告書
2	2020-A-01 (ERI_01)	-	加納 靖之	-	東京大学・地 震研究所	企画部	歴史地震史料を活用した地震学的 解析	報告書
3	2020-A-01 (ERI_02)	-	安田 敦	-	東京大学・地 震研究所	企画部	マグマ溜まりの時間発展と噴火様 式との関連性	報告書
4	2020-A-01 (ERI_03)	-	前野 深	-	東京大学・地 震研究所	企画部	大規模噴火に伴う諸現象とそれを 駆動するマグマ溜りー火道システ ムの解明	報告書
5	2020-A-01 (ERI_12)	-	蔵下 英司	-	東京大学・地 震研究所	企画部	スロー地震モニタリングに基づく 南海トラフ域の地震発生可能性評 価手法に関する研究	報告書
6	2020-A-02	-	田中 聡	-	海洋研究開発 機構	清水 久芳	地球深部の構造とダイナミクス	報告書
7	2020-A-03	A0201	小原 一成	廣瀬 仁	神戸大学・都 市安全研究セ ンター	小原 一成	「スロー地震学」 GNSSによる西南日本のスロース リップイベントに伴う地殻変動の 観測（豊後水道周辺等）	報告書
8	2020-A-03	A0204	小原 一成	田部井 隆雄	高知大学・教 育研究部自然 科学系理工学 部門	小原 一成	「スロー地震学」 GNSSによる西南日本のスロース リップイベントに伴う地殻変動の 観測(四国等)	報告書
9	2020-A-03	A0206	小原 一成	田中 愛幸	東京大学・理 学系研究科	小原 一成	「スロー地震学」 スロースリップイベントに関連し た地殻流体移動の検出	報告書
10	2020-A-04	-	中東 和夫	-	東京海洋大 学・学術研究 院	篠原 雅尚	北部沖縄トラフの上部マントル構 造	報告書

No.	課題番号	付表の 番号	研究 代表者名	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
11	2020-A-05	A	平田 直	加藤 愛太郎	東京大学・地 震研究所	長尾 大道	「次世代地震計測と最先端ベイズ 統計学との融合によるインテリ ジェント地震波動解析」 多種多様な地震計測データ利用法 とその検証	報告書
12	2020-A-05	B	平田 直	長尾 大道	東京大学・地 震研究所	長尾 大道	「次世代地震計測と最先端ベイズ 統計学との融合によるインテリ ジェント地震波動解析」 最先端ベイズ統計学に基づく地震 波動解析アルゴリズムの構築	
13	2020-A-05	C	平田 直	前田 拓人	弘前大学・大 学院理工学研 究科	長尾 大道	「次世代地震計測と最先端ベイズ 統計学との融合によるインテリ ジェント地震波動解析」 インテリジェント地震波動解析： 実データ応用実験とデータ同化法 開発	

2020年度 共同利用継続実施課題一覧【特定共同研究(A)】

No.	課題番号	付表の 番号	研究 代表者名	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2019-A-01 (ERI_01)	-	加納 靖之	加納 靖之	東京大学・地 震研究所	企画部	歴史地震史料を活用した地震学的 解析	報告書
2	2019-A-03	A0101	小原 一成	小原 一成	東京大学・地 震研究所	小原 一成	陸域広帯域地震観測による深部ス ロー地震の活動様式解明	報告書
3	2019-A-03	B0102	小原 一成	望月 公廣	東京大学・地 震研究所	小原 一成	豊後水道周辺域における陸上電磁 気観測	報告書
4	2019-A-05	A	平田 直	加藤 愛太郎	東京大学・地 震研究所	長尾 大道	多種多様な地震計測データ利用法 とその検証	報告書
5	2019-A-05	B	平田 直	長尾 大道	東京大学・地 震研究所	長尾 大道	最先端ベイズ統計学に基づく地震 波動解析アルゴリズムの構築	
6	2019-A-05	C	平田 直	前田 拓人	弘前大学・大 学院理工学研 究科	長尾 大道	インテリジェント地震波動解析： 実データ応用実験とデータ同化法 開発	

※2019年度採択課題に限る特例措置として、新型コロナウイルス感染症による影響に伴い、予定していた会合が実施
できなかった課題について、2020年度への繰越・継続実施をお認めしています。
※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆特定共同研究(B)(研究期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(全国的な規模のグループが実施する、地震予知・噴火予知計画等の事業費に基づかないプロジェクトで将来事業化を目指す計画)

No.	課題番号	新規 継続 最終 年度	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2018-B-01	最終 年度	吉田 健太	海洋研究開発機構	長尾 大道	データ駆動型解析で推し進める変動帯ダイナミクス研究の深化	報告書
2	2018-B-02	最終 年度	高田 陽一郎	北海道大学・大学院理学研究院	青木 陽介	SARを用いた多角的な地殻・地表変動研究	報告書
3	2018-B-04	最終 年度	山本 真行	高知工科大学・システム工学群	今西 祐一	国内インフラサウンド稠密観測網の確立	報告書
4	2019-B-01	継続	下山 勲	富山県立大学	市原 美恵	MEMS空振センサを用いた火山観測	報告書
5	2019-B-04	継続	加納 将行	東北大学・大学院理学研究科	福田 淳一	固体地球現象の理解と予測に向けたデータ同化法の開発	報告書
6	2019-B-05	継続	三浦 哲	東北大学・大学院理学研究科	今西 祐一	重力・測地観測技術の高度化に基づく地殻の流体移動及び非弾性応答の研究	報告書
7	2019-B-06	継続	川勝 均	東京大学・地震研究所	篠原 雅尚 塩原 肇 望月 公廣 竹尾明子 加藤愛太郎 蔵下英司 悪原 岳	フロンティア地球観測	報告書
8	2019-B-08	継続	塩原 肇	東京大学・地震研究所	塩原 肇	可搬型実用絶対重力計測への量子センシング技術の基盤研究	報告書
9	2020-B-01	新規	平賀 岳彦	東京大学・地震研究所	平賀 岳彦	地殻・マントル物性を明らかにするための実験基準試料の合成とその配布	報告書

No.	課題番号	新規 継続 最終 年度	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
10	2020-B-03	新規	太田 雄策	東北大学・大学院理学研究科	青木 陽介	超稠密GNSS観測による地殻変動研究の新展開	報告書
11	2020-B-06	新規	井上 邦雄	東北大学・ニュートリノ科学研究センター	田中 宏幸	マントル地球ニュートリノ検出を目指した海洋底ニュートリノ検出器による地球深部理解	報告書
12	2020-B-07	新規	芝崎 文一郎	建築研究所・国際地震工学センター	岩森 光	プレートの沈み込みと島弧変動のダイナミクス	報告書

2020年度 共同利用継続実施課題一覧【特定共同研究(B)】

No.	課題番号	新規 継続 最終 年度	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2018-B-01	—	吉田 健太	海洋研究開発機構	長尾 大道	データ駆動型解析で推し進める変動帯ダイナミクス研究の深化	
2	2018-B-02	—	高田 陽一郎	北海道大学・大学院理学研究院	青木 陽介	SARを用いた多角的な地殻・地表変動研究	
3	2018-B-04	—	山本 真行	高知工科大学・システム工学群	今西 祐一	国内インフラサウンド稠密観測網の確立	
4	2019-B-01	—	下山 勲	富山県立大学	市原 美恵	MEMS空振センサを用いた火山観測	
5	2019-B-04	—	加納 将行	東北大学・大学院理学研究科	福田 淳一	固体地球現象の理解と予測に向けたデータ同化法の開発	
6	2019-B-07	—	加納 靖之	東京大学・地震研究所	加納 靖之	地震等の歴史自然災害による城郭被害の集成	報告書

※2019年度採択課題に限る特例措置として、新型コロナウイルス感染症による影響に伴い、予定していた会合が実施できなかった課題について、2020年度への繰越・継続実施をお認めしています。

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆**特定共同研究(C)**(研究期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(地震研究所が特別に認めた、共同利用経費以外の資金によって運営される共同研究プロジェクト)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2020-C-01	木村 尚紀	防災科学技術研究所	中川 茂樹	首都圏地震観測網 (MeSO-net) を使った地震活動・プレート構造の研究	報告書

2020年度 共同利用継続実施課題一覧【特定共同研究(C)】

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2019-C-01	木村 尚紀	防災科学技術研究所	中川 茂樹	首都圏地震観測網 (MeSO-net) を使った地震活動・プレート構造の研究	

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆一般共同研究(研究期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2020-G-01	田阪 美樹	静岡大学・理学部	平賀 岳彦	かんらん岩を用いた2相系岩石の変形特性	報告書
2	2020-G-02	西澤 達治	東京工業大学・理学院	岩森 光	沈み込んだ海山が島弧火成活動に及ぼす影響の解明	報告書
3	2020-G-03	山田 昌樹	信州大学・理学部	佐竹 健治	別府湾における津波発生年代と断層破壊域の解明	報告書
4	2020-G-04	篠崎 鉄哉	筑波大学・アインストープ環境動態研究センター	佐竹 健治	地質調査と数値シミュレーションに基づく日向灘地震・津波履歴と波源域の解明	報告書
5	2020-G-05	永田 広平	気象庁・気象研究所	中谷 正生	断層の内部状態の解明	報告書
6	2020-G-06	飯塚 毅	東京大学・大学院理学系研究科	竹内 希	物理学的な地球化学組成モデルの推定	報告書
7	2020-G-07	石橋 秀巳	静岡大学・理学部	安田 敦	富士山宝永噴火の斑レイ岩カタクレサイト捕獲岩の形成過程	報告書
8	2020-G-08	鈴木 岳人	青山学院大学・理工学部	亀 伸樹	流体の流れと自己沈殿により引き起こされる動的地震破壊過程の多様性	報告書
9	2020-G-09	多田 訓子	海洋研究開発機構	馬場 聖至	海底電磁場データに基づく西之島の火山活動の解明	報告書
10	2020-G-10	山口 覚	大阪市立大学・大学院理学研究科	上嶋 誠	活断層浅部地下構造を対象とする新しい標準的調査研究パッケージ構築のための実証的調査	報告書
11	2020-G-11	鶴 哲郎	東京海洋大学・学術研究院	望月 公廣	同時発振方式による三次元反射法地震探査用振源の海上試験	報告書

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
12	2020-G-12	長谷川 健	茨城大学・大学院 理工学研究科	市原 美恵	超大規模水蒸気プリニー式噴火の国際 比較研究：地質学的・物質科学的手法 による噴火推移モデルの構築	報告書
13	2020-G-13	鬼澤 真也	気象庁・気象研究 所	今西 祐一 西山 竜一	伊豆大島火山マグマ活動の解明に向け た精密重力観測	報告書
14	2020-G-14	本多 亮	神奈川県温泉地学 研究所	蔵下 英司	マルチアレイ観測による深部低周波地 震の精密震源決定	報告書
15	2020-G-15	神田 径	東京工業大学・理 学院	小山 崇夫	地下構造調査による本白根山2018年 噴火発生場の解明	報告書
16	2020-G-16	室谷 智子	国立科学博物館	佐竹 健治 鶴岡 弘	歴史地震記象の利活用に向けたアナロ グ記録の数値化	報告書
17	2020-G-17	折橋 裕二	弘前大学・大学院 理工学研究科	中井 俊一	海洋プレート内断裂帯（線状変質帯） が与える島弧火成作用の影響：南米チ リ南部火山帯第四紀火山岩中ホウ素の 挙動からの制約	報告書
18	2020-G-18	内田 直希	東北大学・理学研 究科	加藤 愛太郎	列島規模のHidden Earthquake Catalogの構築に向けて	報告書

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆研究集会（研究期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催予定日	報告書
1	2020-W-01	竹内 希	東京大学・地震研究所	馬場 聖至 一瀬 建日	太平洋アレイワークショップ	2020年5月29日	報告書
2	2020-W-02	加納 将行	東北大学・大学院理学研究科	小原 一成	スロー地震の発生様式・発生環境・発生原理に関する包括的理解：巨大地震との関連性の解明を目指して	2020年9月16日～18日	報告書
3	2020-W-03	林 昌奎	東京大学・生産技術研究所	篠原 雅尚	2021 IEEE Underwater Technology (UT21)	2021年3月1日～4日	報告書
4	2020-W-04	山田 昌樹	信州大学・理学部	佐竹 健治	2020年度津波堆積物研究会	2020年10月～12月の3日間	報告書
5	2020-W-05	高田 陽一郎	北海道大学・大学院理学研究院	青木 陽介	SARによる地表変動解析の展開：先進レーダ衛星の活用を見据えて	2020年9月23～25日	報告書
6	2020-W-06	小寺 祐貴	気象庁・気象研究所	鶴岡 弘	固体地球科学における即時予測・即時解析のフロンティア：基礎的研究から利活用まで	2021年1月上旬の2日間	報告書
7	2020-W-07	前田 拓人	弘前大学・大学院理工学研究科	小原 一成	地表・海底の振動記録から探る地震以外の諸現象	2020年6月ごろ	報告書

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催 予定日	報告書
8	2020-W-08	麻生 尚文	東京工業大学・理学院	大谷 真紀子	数値実験とデータ解析から探る地震活動の物理	2020年12月～2021年3月の1日間	報告書
9	2020-W-09	門廻 充侍	東北大学・災害科学国際研究所	佐竹 健治	第10回巨大津波災害に関する合同研究集会	2020年12月17日～18日	報告書
10	2020-W-10	野口 科子	地震予知総合研究振興会	古村 孝志	固体地球の多様な波動現象へのアプローチ：多量データ解析と大規模計算を両輪に	2020年9月～12月の2日間	報告書
11	2020-W-11	橋本 雄太	国立歴史民俗博物館	加納 靖之	みんなで翻刻フォーラム(仮)	2020年11月下旬の1日	報告書

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆地震・火山噴火の解明と予測に関する研究(研究期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画のうち、「1.地震・火山現象の解明のための研究」、

No.	課題番号	継続/ 新規	代表者名	所属機関	研究課題	報告書
1	2020-KOBO02	継続	石辺 岳男	地震予知総合研究振興会	有感地震記述ならびに震度の距離減衰式に基づく地震活動解析	報告書
2	2020-KOBO04	継続	後藤 芳彦	室蘭工業大学	カルデラ・リサージェンスモデルに基づく北海道屈斜路カルデラの大規模噴火予測	報告書
3	2020-KOBO06	一部 新規、 一部 継続	佐藤 鋭一	大阪府立大学・高等教育推進機構	火山活動推移に対応したマグマ供給系の変遷モデルの構築	報告書
4	2020-KOBO07	継続	児玉 哲哉	宇宙航空研究開発機構	地震先行VLF帯電磁波強度減少研究のための超小型衛星のエンジニアリングモデルの製作	報告書
5	2020-KOBO08	継続	織原 義明	東海大学・海洋研究所	行政等が所有する宏観異常現象に関わるデータを用いた地震発生の確率予測	報告書
6	2020-KOBO09	継続	鴨川 仁	静岡県立大学・グローバル地域センター	地震先行VLF帯電磁波強度減少の統計的評価と発生メカニズムの解明	報告書
7	2020-KOBO11	継続	大場 武	東海大学・理学部	水蒸気噴火が懸念される火山におけるマグマ起源流体の挙動解明と火山活動評価	報告書
8	2020-KOBO12	継続	齋藤 武士	信州大学・学術研究院理学系	火山ガス観測による焼岳火山の活動評価とガス輸送システムの解明	報告書

No.	課題番号	継続/ 新規	代表者名	所属機関	研究課題	報告書
9	2020-KOBO13	継続	鹿児島 涉悟	東京大学・大気海洋 研究所	北海道摩周周辺における火山熱水活動の 変動に関する地球化学的調査	報告書
10	2020-KOBO15	継続	伴 雅雄	山形大学・理学部	蔵王山、過去約800年間の活動の噴火推 移の類型化	報告書
11	2020-KOBO17	新規	長尾 年恭	東海大学・海洋研究 所	富士山頂における全磁力通年観測	報告書
12	2020-KOBO18	新規	上相 英之	国文学研究資料館・ 古典籍共同研究事業 センター	みんなで拓本－地震・津波・火山噴火伝 承碑のデジタル収集と解読	報告書

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆高エネルギー素粒子地球物理学公募研究(研究期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(高エネルギー素粒子地球物理学に関連する技術開発研究課題)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	担当教員	研究課題	報告書
1	2018-H-03	松島 潤	東京大学・大学院新領域創成科学研究科	最終年度	田中 宏幸	石油貯留層の密度分布モニタリングを目的としたミュオグラフィの性能評価（多次元への拡張）と地震波探査データとのジョイントインバージョン手法構築	報告書
2	2020-H-01	Domenico Lo Presti	University of Catania Department of Physics and Astronomy	新規	田中 宏幸	Joint measurement of the internal structure of Sakurajima volcano by means of muography	報告書
3	2020-H-02	金 政浩	九州大学・大学院総合理工学府	新規	田中 宏幸	エネルギーウインドウ型ミュオグラフィの実測を通じた原理実証試験	報告書
4	2020-H-03	林 武文	関西大学・総合情報学部	新規	田中 宏幸	古墳のミュオグラフィ計測における3次元可視化システムの開発	報告書
5	2020-H-04	末永 弘	電力中央研究所	新規	田中 宏幸	孔井内ミュオグラフィ観測装置における新たなミュオン検出システムの導入	報告書
6	2020-H-05	Dezso Varga	High Energy Physics Dept., Wigner Research Centre for Physics	新規	田中 宏幸	Muography imaging instrumentation for applications in geophysics and human infrastructure	報告書

2020年度 共同利用継続実施課題一覧【高エネルギー素粒子地球物理学公募研究】

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	担当教員	研究課題	報告書
	2018-H-3	松島 潤	東京大学・大学院工学系研究科	継続	田中 宏幸	石油貯留層の密度分布モニタリングを目的としたミュオグラフィの性能評価と適用性の可視化	

※2019年度採択課題に限る特例措置として、新型コロナウイルス感染症による影響に伴い、予定していた会合が実施できなかった課題について、2020年度への繰越・継続実施をお認めしています。

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

◆大型計算機共同利用公募研究（研究期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（地震・火山・防災の関連分野の研究遂行に関わる大規模計算を行う研究課題）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	戦略的/一般	担当教員	研究課題	報告書
1-1	2020-S-01	増田 滉己	東京大学・理学系研究科	戦略的	鶴岡 弘	大規模重合によるスロー地震スペクトルの評価	報告書
1-2	2020-S-02	馬場 俊孝	徳島大学・大学院社会産業理工学研究部	戦略的	古村 孝志	津波即時予測技術の共進化を可能にする標準評価法とデータセットの創出	報告書
1-3	2020-S-03	瀬瀬 一起	東京大学・地震研究所	戦略的	古村 孝志	波形インバージョンによる地下構造モデル構築	報告書
1-4	2020-S-04	前田 拓人	弘前大学・大学院理工学研究科	戦略的	古村 孝志	大規模地震動シミュレーションコミュニティコードの発展とその活用	報告書
1-5	2020-S-05	小屋口 剛博	東京大学・地震研究所	一般	小屋口 剛博	火山噴煙および火砕流ダイナミクスの数値モデルの開発研究	報告書
1-6	2020-S-06	武多 昭道	東京大学・地震研究所	一般	武多 昭道	宇宙線伝播シミュレーション	報告書
1-7	2020-S-07	岩田 貴樹	県立広島大学・総合教育センター	一般	鶴岡 弘	P波初動を用いた応力空間パターン推定手法の高度化	報告書
2-1	2020-S-08	竹中 博人	岡山大学・大学院自然科学研究科	戦略的	古村 孝志	大規模地震動シミュレーションに基づく南西諸島域の高精度震源解析	報告書
3-1	2020-S-09	金子 善宏	京都大学・大学院理学研究科	戦略的	古村 孝志	断層条線の特性から探る大地震の破壊伝播方向	報告書
3-2	2020-S-10	藤田 航平	東京大学・地震研究所	戦略的	古村 孝志	Virtual Subduction Zoneプロジェクト	報告書

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。